

## 2023年4月 東京地区百貨店売上高概況

2023年5月23日

### I. 概況

1. 売上高総額	1, 220億円余
2. 前年同月比（増減率）	11.5%（20か月連続プラス）
3. 店頭・非店頭の増減	店頭14.4%（91.8%）：非店頭-12.9%（8.2%） （ ）内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店（2023年3月対比±0店）
5. 総店舗面積	727,948㎡（前年同月比：-8.8%）
6. 総従業員数	13,987人（前年同月比：-6.8%）
7. 3か月移動平均値	9-11月 16.2%、10-12月 10.3%、11-1月 11.0%、 12-2月 14.6%、1-3月 17.2%、2-4月 14.5%

【参考】2022年4月の売上高増減率は27.0%

#### 【特徴】

- (1) 4月の東京地区は、売上高11.5%増と20か月連続のプラスとなった。外出機会の増加や天候与件、増勢が続く高付加価値商材の好調推移、更にはインバウンド消費も売上増に寄与した。2019年比では売上高は3.0%減だが、免税売上を除く国内市場は1.5%増と、コロナ前を上回る実績となった。入店客数は8.5%増、2019年比では23.6%減となった。
- (2) 商品別では、主要5品目のうち食料品を除く4品目でプラスとなった。主力の衣料品（16.8%増/19か月連続）は、通勤やお出かけニーズの回復により、ビジネス、カジュアル共に好調に推移し、紳士服ではスーツ、ジャケット、アウトドア商材の動きが良く、婦人服ではブラウスやカットソー、薄手のカーディガンやブルゾン等が好調だった。
- (3) 身のまわり品（23.1%増/20か月連続）は、引き続きラグジュアリーブランドが売上を牽引した。GWに向けた旅行需要も活況で、スーツケースやトラベルバッグ、スニーカーやサンダルが好調に推移した他、気温上昇で雑材のバッグやリゾートアイテム等、盛夏物も動いた。雑貨（12.6%増/20か月連続）では、化粧品が脱マスクや外出機会増加を背景に、リップやファンデーション、UV下地等幅広いアイテムで動きが見られた。
- (4) 食料品（1.0%減/20か月ぶり）は、菓子が引き続き好調で、個人・法人の手土産や行楽需要の他、訪日客需要が増加傾向にある。また、レストランも外食ニーズの高まりから大幅に伸長しており、家族や大人数での集まりの他、訪日客の利用も見られる。
- (5) 5月中間段階の商況は、前年比8.0%増（5/17時点）で推移している。コロナ前の2019年比では約1%減と、回復基調は継続している。

#### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日（前年同月比 ±0.0日）
- (2) 入店客数増減（回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗）  
①増加した：16店、②変化なし：1店、③減少した：1店
- (3) 4月歳時記（春物商戦、GW）の売上（同上/有効回答数12店舗）  
①増加した：6店、②変化なし：5店、③減少した：1店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2023年4月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>122,007,463</b>	<b>100.0</b>	<b>11.5</b>
紳士服・洋品	9,585,453	7.9	18.2
婦人服・洋品	20,455,030	16.8	19.6
子供服・洋品	3,122,704	2.6	4.8
その他衣料品	1,559,202	1.3	0.8
<b>衣 料 品</b>	<b>34,722,389</b>	<b>28.5</b>	<b>16.8</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>22,289,418</b>	<b>18.3</b>	<b>23.1</b>
化粧品	10,206,436	8.4	19.0
美術・宝飾・貴金属	13,240,938	10.9	8.3
その他雑貨	4,360,485	3.6	12.1
<b>雑 貨</b>	<b>27,807,859</b>	<b>22.8</b>	<b>12.6</b>
家 具	1,322,745	1.1	-1.6
家 電	1,103,677	0.9	8.5
その他家庭用品	2,830,748	2.3	-1.3
<b>家 庭 用 品</b>	<b>5,257,170</b>	<b>4.3</b>	<b>0.6</b>
生 鮮 食 品	3,030,209	2.5	-5.0
菓 子	7,554,183	6.2	4.5
惣 菜	5,861,163	4.8	-3.0
その他食料品	8,595,454	7.0	-2.8
<b>食 料 品</b>	<b>25,041,009</b>	<b>20.5</b>	<b>-1.0</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>2,332,646</b>	<b>1.9</b>	<b>19.8</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>1,988,554</b>	<b>1.6</b>	<b>-14.7</b>
<b>そ の 他</b>	<b>2,568,418</b>	<b>2.1</b>	<b>22.0</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,415,868 千円	-5.5
従 業 員 数	13,987 人	-6.8
店 舗 面 積	727,948 m <sup>2</sup>	-8.8

営 業 日 数	30.0 日	前 年	30.0 日
---------	--------	-----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、食料品が20か月ぶりにマイナスとなったが、その他の4品目はプラスとなった。その他の品目は、紳士服・洋品が18か月連続、婦人服・洋品が20か月連続、美術・宝飾・貴金属が27か月連続でプラスとなった一方、生鮮食品が7か月連続、惣菜が2か月連続でマイナスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>11.5</b>	<b>—</b>	<b>20か月連続プラス</b>
紳士服・洋品	18.2	1.3	18か月連続プラス
婦人服・洋品	19.6	3.1	20か月連続プラス
子供服・洋品	4.8	0.1	10か月連続プラス
その他衣料品	0.8	0.0	3か月ぶりプラス
<b>衣料品</b>	<b>16.8</b>	<b>4.6</b>	<b>19か月連続プラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>23.1</b>	<b>3.8</b>	<b>20か月連続プラス</b>
化粧品	19.0	1.5	20か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	8.3	0.9	27か月連続プラス*
その他雑貨	12.1	0.4	14か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>12.6</b>	<b>2.8</b>	<b>20か月連続プラス</b>
家具	-1.6	-0.0	2か月ぶりマイナス
家電	8.5	0.1	7か月連続プラス
その他家庭用品	-1.3	-0.0	4か月ぶりマイナス
<b>家庭用品</b>	<b>0.6</b>	<b>0.0</b>	<b>4か月連続プラス</b>
生鮮食品	-5.0	-0.1	7か月連続マイナス*
菓子	4.5	0.3	26か月連続プラス*
惣菜	-3.0	-0.2	2か月連続マイナス*
その他食料品	-2.8	-0.2	2か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-1.0</b>	<b>-0.2</b>	<b>20か月ぶりマイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>19.8</b>	<b>0.4</b>	<b>14か月連続プラス</b>
<b>サービス</b>	<b>-14.7</b>	<b>-0.3</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>22.0</b>	<b>0.4</b>	<b>3か月連続プラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-5.5</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで  
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>